

10代の若者を濃密な5年間の技術教育で一人前に育て上げる高等専門学校(高専)。50年超の歴史のある教育システムに近代化を目指すアジアなどの新興国から熱い視線が注がれ、日本流高専の「輸出」が始まっている。「高専に任せろ第4部 アジアでもKOSEN」は産業立国を目指すモンゴルに開かれた高専の初代校長の志半ばにして急逝した物語から始まる。＝■動画を電子版映像ページに

モンゴル丸ごと日本式

その悲報が取材班の元に届いたのは8月中旬だった。「新学年の9月からは4年生が誕生し、専門教育が佳境を迎える。今が大事な時期だ」。7月下旬に固い決意を語ったばかり。モンゴル科学技術大学付属高専、ガンバイル校長の訃報だった。45歳だった。同氏は1992年に高専留学第2期生として国に帰った。費用で東京高専に入学。電気工学を修めた後は20年間の技術者としてソニーや富士通などのプロジェクトで働いた。充実した生活だったが、去来するのには母国の近代化への思いがあった。資源大国ではあるがそのまま輸出し外貨を稼ぐモンゴル。日本は資源を輸出して技術者育成の機会を得た。同氏だけがそう思っていたわけではない。モンゴルに「高専」を合言葉に活動5年で創設した。立ち上げ「日本式高専をモンゴルに」を合言葉に活動を始めた。高専の教授を派遣し、日本では視察を受け入れ

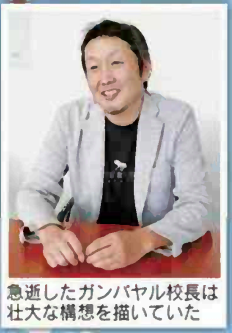
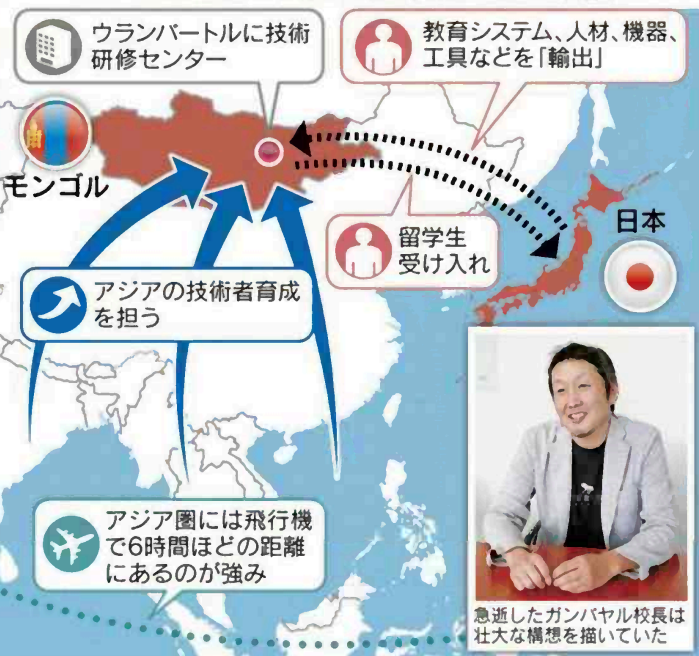
交流を深めた。偶然にも恵まれ思いは急速に一気に実現する。高専出身のガントゥムル氏がモンゴルの教育文化科学相となったからだ。そして14年にモンゴル科学技術大、モンゴル工業技術大のそれぞれの付属高専と、新モンゴル高専の計3校が誕生した。高専を「KOSEN」と表記し、そのまま「コーセン」と呼ぶほどだ。なぜモンゴルが高専に目を向けたのか。それは現在の経済力(16年の1人当たり国内総生産11000ドル)が日本(3686ドル)より約3倍ある。卒業生が産業界で活躍し始めた時期(1973年の3977ドル)と重なるからだ。歴史の必然だ。6月、高専機構と教育・広報分野で提携した首都ウランバートルのバトボルド市長は「日本の高専教育システムが高度経済成長を支えた」と聞いて、国の人口の半分が居住するこの市は、衛生的な住環境を整備するために技術者育成が急務だ」と話す。困窮に燃える指導者たちが40年前の日本の風景を再現しようとしている。お手下があるから最適経路に違いない。高専機構は提携に先立ち昨年、同市に事務所を開設。モンゴル側の代表を務めるのが市議会議員のバイガルマ氏だ。バイガルマ氏は91年に東京高専に留学、急逝したガンバイル氏の1年先輩にあたる。東京農工大を経て、米ハーバード大でも研究者として勤務したが母国に高専ができること知り、2014年に帰国し高専発展に一肌脱いだ。同氏によると繊維、食品、建築などの経営者から「技術とマネジメントの両方がわかる工場長が不足している」と言われるという。理論と実践の両立は高専が得意とするところ。期待は高まる。この高専の特徴は日本人教員の多さだ。5年の長期や2週間の短期を合わせて20人の日本人教師がいる。専門も溶接やCAD(コンピュータ)に

校長の遺志「産業立国」

モンゴルの高専開校の歩み

1991年	バイガルマ氏(現市議)が東京高専に留学
92	ガンバイル氏(前モンゴル科学技術大付属高専校長)が同校に留学
2009	「モンゴルに日本式高専を創る支援の会」発足
14	モンゴルに高専3校が開校

モンゴルは日本式高専教育のハブを目指す

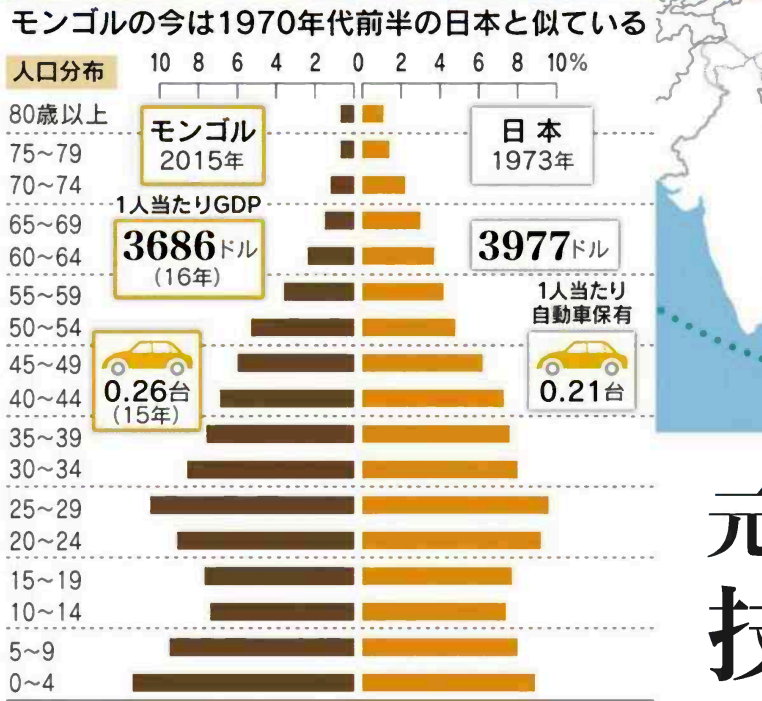


元留学生ら一肌 技術者の卵育む

高専機構は提携に先立ち昨年、同市に事務所を開設。モンゴル側の代表を務めるのが市議会議員のバイガルマ氏だ。バイガルマ氏は91年に東京高専に留学、急逝したガンバイル氏の1年先輩にあたる。東京農工大を経て、米ハーバード大でも研究者として勤務したが母国に高専ができること知り、2014年に帰国し高専発展に一肌脱いだ。同氏によると繊維、食品、建築などの経営者から「技術とマネジメントの両方がわかる工場長が不足している」と言われるという。理論と実践の両立は高専が得意とするところ。期待は高まる。この高専の特徴は日本人教員の多さだ。5年の長期や2週間の短期を合わせて20人の日本人教師がいる。専門も溶接やCAD(コンピュータ)に

EPA活用 輸出増狙う 3面に続く

(安西明秀、編集委員 田中陽)



高専機構は提携に先立ち昨年、同市に事務所を開設。モンゴル側の代表を務めるのが市議会議員のバイガルマ氏だ。バイガルマ氏は91年に東京高専に留学、急逝したガンバイル氏の1年先輩にあたる。東京農工大を経て、米ハーバード大でも研究者として勤務したが母国に高専ができること知り、2014年に帰国し高専発展に一肌脱いだ。同氏によると繊維、食品、建築などの経営者から「技術とマネジメントの両方がわかる工場長が不足している」と言われるという。理論と実践の両立は高専が得意とするところ。期待は高まる。この高専の特徴は日本人教員の多さだ。5年の長期や2週間の短期を合わせて20人の日本人教師がいる。専門も溶接やCAD(コンピュータ)に